# 学習の指針(シラバス)

教科名 家庭	実施学年	3年	週時数	1 時間
--------	------	----	-----	------

# 1 学習の目標等

	家族や保育等に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、家
学習の目標	庭生活を基盤とし、日本の社会や現代社会について理解を深め、自立
	の為に必要な能力と態度を育てる。
使用教科書・副教材等	「技術・家庭 技術分野」開隆堂

# 2 学習計画及び評価方法〈6月1日現在〉 (カッコ内は後期履修の場合)

月	音計画及い評価方伝     学習内容	学習のねらい	実習 実習	評価
6月	・自分や家族の身	<ul><li>コロナウイルスにより重</li></ul>	・マスクの作製	・マスクの役割に
(12月)	も守るための衛生について	要視されているマスク	(今年度、マスク	気がつけたか。
	考える	と役割を考えると共に	の作製について	・型紙を使用して
		衛生について学ぶ。	は、十分配慮の	のマスク作り
			上、実施いていき	ができたか。
			ます。)	
	<ul><li>私の成長と周囲の人々</li></ul>	・ライフステージに応じた		・アイデンティテ
	00人々	課題と青年期に課題につ いて考える。		ィについて考
				え、自分を表現
				できる。
7月	- - 家族の働き	・家庭での活動を考え、家		
(1月)	• *** *** -	庭には様々な働きがある		・3つの自立が理
		事を理解する。		解できる。
	  ・幼児の体の発達	・幼児の体と、心の発達の		・家庭の中での、
	と心の発達	特徴を知る。		自分の役割を見
				つけることがで
				きる。
	・幼児の心身の発	・幼児の発達と生活の特徴	・手袋を使用し	・身体の発達と心
9月	達と家族の役	をしり、子供の育つ環境 としての家族の役割につ	た幼児体験	の発達の関わり
(2月)	割	いて考えることができ	(今年度、幼児体験	について考える
		る。	に関しては、十分配	ことができる。
			慮の上、実施してい	
			きます)	
10月	・幼児の遊びと	・遊びが幼児の学びとなり、	・ロールプレイン グを行い、イヤ	<ul><li>どのような遊び</li></ul>
(3月)	発達	発達を促進させることが 分かる。	イヤ期への対応	のおもちゃでどの
		N 14⊙°	を考える。	

	・おもちゃの	ようなことが学べ
	作製	るのか分かる。
	(おもちゃの作	<ul><li>おもちゃの素材</li></ul>
	製については十	と安全性につい
	分配慮の上実施	て考えることが
	していきます。)	できる。
	・発表	

### 3. 評価について

### (1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
生活や技術への	家庭科に関する技術に関心を持	ワークシートへの記述
	ち、実習やおもちゃ作りにおいて	☆授業での実習の態度
関心・意欲・態度	積極的に取り組むことができる。	
生活を工夫し創	家庭内での自分の役割を見つけ、	☆授業で作成した作品への工夫
	今後自分の家庭を持つことを見据	レポートやワークへの取り組み
造する能力	えて、ワークライフバランス等に	
	ついて考えることができる。	
生活の技能	年齢に応じたおもちゃ作りや、子	☆おもちゃの作製
工口小孩吃	どもの安全に配慮した素材選びが	ロールプレイング等のワークへ
	できる。	の記述
生活や技術につ	基本的生活習慣と社会的生活が理	
	解できる。幼児の心と体の発達につ	定期テスト
いての知識・理解	いて理解ができる。	

<sup>☆</sup>印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

# (2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=2点、B=1点、C=0点として4つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	12点
4	10~11点
3	7~9点
2	5~6点
1	4点